

議会だより



令和8年3月1日オープン
開放的な書棚で新しい発見を——
(TSURUTA ふくろうの森プラザ)

Contents

議決一覧表	P2～3
請願一覧表、賛否の分かれた議案等	P4
予算特別委員会開催	P5
令和8年度予算に対する各会派の意見	P6
代表質問 (4人)	P7～9
一般質問 (11人)	P10～15



令和8年第1回定例会 議決一覧表

議案等番号	件名	議決日	議決結果
諮問第1号	人権擁護委員の候補者推薦につき意見を求めることについて	8.2.25	同意
諮問第2号	人権擁護委員の候補者推薦につき意見を求めることについて	8.2.25	同意
認定第1号	令和7年度古河市一般会計補正予算(第6号)の専決処分の報告及び承認を求めることについて	8.2.25	承認
認定第2号	令和7年度古河市水道事業会計補正予算(第4号)の専決処分の報告及び承認を求めることについて	8.2.25	承認
認定第3号	令和7年度古河市一般会計補正予算(第7号)の専決処分の報告及び承認を求めることについて	8.2.25	承認
議案第1号	令和8年度古河市一般会計予算	8.3.13	原案可決
議案第2号	令和8年度古河市国民健康保険特別会計(事業勘定)予算	8.3.13	原案可決
議案第3号	令和8年度古河市古河福祉の森診療所特別会計予算	8.3.13	原案可決
議案第4号	令和8年度古河市後期高齢者医療特別会計予算	8.3.13	原案可決
議案第5号	令和8年度古河市介護保険特別会計(保険事業勘定)予算	8.3.13	原案可決
議案第6号	令和8年度古河市ゴルフ場事業特別会計予算	8.3.13	原案可決
議案第7号	令和8年度古河市古河駅東部土地地区画整理事業特別会計予算	8.3.13	原案可決
議案第8号	令和8年度古河市水道事業会計予算	8.3.13	原案可決
議案第9号	令和8年度古河市下水道事業会計予算	8.3.13	原案可決
議案第10号	古河市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	8.2.25	同意
議案第11号	古河市いじめ問題対策連絡協議会等条例の一部改正について	8.3.13	原案可決
議案第12号	(仮称)古河市新公会堂・未来産業用地(大堤地区)開発事業審査委員会設置条例の制定について	8.3.13	原案可決
議案第13号	古河市情報公開条例の一部改正について	8.3.13	原案可決
議案第14号	古河市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	8.3.13	原案可決
議案第15号	古河市議会議員報酬等条例の一部改正について	8.3.13	原案可決
議案第16号	古河市職員の給与に関する条例等の一部改正について	8.3.13	原案可決
議案第17号	古河市特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正について	8.3.13	原案可決
議案第18号	古河市国民健康保険税条例の一部改正について	8.3.13	原案可決
議案第19号	古河市手数料条例の一部改正について	8.3.13	原案可決
議案第20号	古河市開発行為、建築等に関する手数料条例の一部改正について	8.3.13	原案可決
議案第21号	古河市空家等の適切な管理に関する条例の一部改正について	8.3.13	原案可決
議案第22号	古河市犯罪被害者等支援条例の制定について	8.3.13	原案可決

議案等番号	件名	議決日	議決結果
議案第23号	古河市医療福祉費支給に関する条例の一部改正について	8.3.13	原案可決
議案第24号	古河市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	8.3.13	原案可決
議案第25号	古河市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	8.3.13	原案可決
議案第26号	古河市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	8.3.13	原案可決
議案第27号	古河市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	8.3.13	原案可決
議案第28号	古河市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	8.3.13	原案可決
議案第29号	古河市内における太陽光発電設備設置及び維持管理に関する条例の一部改正について	8.3.13	原案可決
議案第30号	古河市設置による三和町工場誘致条例の失効に伴う経過措置を定める条例の廃止について	8.3.13	原案可決
議案第31号	古河市都市公園条例の一部改正について	8.3.13	原案可決
議案第32号	古河市地域交流センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について	8.3.13	原案可決
議案第33号	古河市立学校体育施設の開放に関する条例の一部改正について	8.3.13	原案可決
議案第34号	古河市スポーツ施設適正化計画策定審議会設置条例の制定について	8.3.13	原案可決
議案第35号	財産の取得について	8.3.13	原案可決
議案第36号	財産の取得について	8.3.13	原案可決
議案第37号	財産の取得について	8.3.13	原案可決
議案第38号	財産の処分について	8.3.13	原案可決
議案第39号	令和7年度古河市一般会計補正予算（第8号）	8.3.13	原案可決
議案第40号	令和7年度古河市国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第4号）	8.3.13	原案可決
議案第41号	令和7年度古河市古河福祉の森診療所特別会計補正予算（第3号）	8.3.13	原案可決
議案第42号	令和7年度古河市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	8.3.13	原案可決
議案第43号	令和7年度古河市介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第3号）	8.3.13	原案可決
議案第44号	令和7年度古河市ゴルフ場事業特別会計補正予算（第3号）	8.3.13	原案可決
議案第45号	令和7年度古河市古河駅東部土地地区画整理事業特別会計補正予算（第3号）	8.3.13	原案可決
議案第46号	令和7年度古河市水道事業会計補正予算（第5号）	8.3.13	原案可決
議案第47号	令和7年度古河市下水道事業会計補正予算（第3号）	8.3.13	原案可決

◆色付き部分は賛否が分かれた案件

請願一覧表

番 号	件 名	付託委員会	審議結果
令和8年 請願第1号	「最低賃金の大幅引き上げと中小企業支援策の拡充を求める意見書」採択の請願	総務常任委員会	不採択

◆色付き部分は賛否が分かれた案件

賛否の分かれた議案等

○賛成、×反対

議案等番号	政友会			古河市公明党			市民ベースの会			真政会					古河清風会			無党派							
	佐藤 泉	鈴木 隆	赤坂 育男	高橋 秀彰	佐藤 稔	鶴見久美子	佐々木英徳	増田 悟	落合 康之	阿久津佳子	黒川 輝男	園部 増治	青木 和夫	立川 徹	稲葉 貴大	齊藤由美子	渡邊 澄夫	印出 慎也	小林登美子	小森谷博之	鈴木 務	関口 和男	古川 一美	秋庭 繁	
議案第1号	○	×	×	○	○	○	×	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	○	×	×	○	○	○	×	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号	○	×	×	○	○	○	×	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号	○	×	×	○	○	○	×	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号	○	×	×	○	○	○	×	○	×	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第18号	○	×	×	○	○	○	×	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和8年 請願第1号	×	○	○	×	×	×	○	×	×	×	欠	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	

※議長欠席により、副議長は表決に加わらないため「-」と表示。

予算特別委員会開催 令和8年度当初予算を審査しました



令和8年度一般会計、6特別会計および水道事業会計、下水道事業会計予算を慎重に審査するため、一般会計予算特別委員会、特別会計・企業会計予算特別委員会に分かれ、3月4日、5日、6日の3日間にわたり、各会計予算の審査を行いました。

一般会計予算特別委員会

一般会計

過去2番目の予算額 ※合併以降

583億

(対前年度 △20億4,000万円)



一般会計予算審査の様子（3月4日・5日）

特別会計・企業会計予算特別委員会

特別会計

国民健康保険（事業勘定）

134億5,590万円

(△2億630万円)

古河福祉の森診療所

1億1,700万円

(△700万円)

後期高齢者医療

25億6,590万円

(+3億8,440万円)

介護保険（保険事業勘定）

121億7,400万円

(+3億4,600万円)

ゴルフ場事業

9,100万円

(±0円)

古河駅東部土地区画整理事業

9億7,800万円

(△3億6,470万円)

()内は対前年度比

企業会計

水道事業

【収益的支出】

26億5,853万円

(+6,476万円)

【資本的支出】

11億3,454万円

(△964万円)

下水道事業

【収益的支出】

42億9,671万円

(+1億5,360万円)

【資本的支出】

27億3,734万円

(+7億3,886万円)

金額は万円未満を四捨五入、()内は対前年度比



特別会計・企業会計予算審査の様子（3月6日）

令和8年度予算に対する各会派の意見

政友会

令和8年度予算は、人口減少や物価高騰の中、「市民生活の維持」と「将来への投資」を両立する意欲的かつ現実的な編成である。移動販売による買い物支援や小中学校給食費無償化などの教育・福祉の充実、産業基盤強化などの施策を評価する。

佐藤 泉

鈴木 隆

赤坂 育男

古河市公明党

令和8年度予算は、買い物支援や給食費無償化、防災力向上、産業基盤の強化、こどもの居場所づくりや不妊治療助成など、多様な施策を盛り込んでいる。住民ニーズに応える公共サービスの充実を進め、「華のある都市 古河」の実現へ着実な推進を期待する。

高橋 秀彰

佐藤 稔

霸見久美子

佐々木英徳

市民ベースの会

昨年度に続き「教育・福祉の充実」、「都市基盤の充実」、「産業の育成」を重点施策に掲げている。一般会計583億円、予算大綱にある新規事業・主な取り組みでは、市民生活へ最大限還元する確固たる制度設計を行い、持続可能な住民福祉の向上、予算執行を望む。

増田 悟

落合 康之

阿久津佳子

真政会

令和8年度一般会計予算は、583億円 前年度対比3.4%減、合併以降2番目の予算額となった。国の方針である「強い経済」の実現に向けた動きと「古河市戦略方針2026」に基づく重点施策に沿った予算編成であり、地域経済活性化の取り組みや文化拠点の整備に期待する。

黒川 輝男

園部 増治

青木 和夫

立川 徹

稲葉 貴大

齊藤由美子

渡邊 澄夫

古河清風会

厳しい財政環境の中、市税は過去最大を見込む一方、市債の抑制など将来負担にも配慮した堅実な財政運営が図られている。教育・福祉の充実、都市基盤整備、産業振興など、市民生活を支える施策が盛り込まれたバランスの取れた予算であると評価し、賛成する。

印出 慎也

小林登美子

小森谷博之

鈴木 務

会派に属さない議員

おおむね適正である。弱者救済は最優先とすべきだが、何でも無償化することが良い政治になりつつあることに警鐘を鳴らす意味で反対する。

関口 和男

教育・福祉の充実、都市基盤の充実、産業の育成に重点を置いた堅実な予算配分と評価する。市民の声を反映させる市政を期待する。

古川 一美

異常な物価高騰に加え、国保税・後期高齢者医療保険の値上げに対する市民に寄り添う市の施策が無く、開発優先の予算であり賛成できない。

秋庭 繁



代 表 質 問

第1回定例会初日の2月25日に、針谷力市長による令和8年度の市政運営の基本方針並びに施策について述べる施政方針演説が行われました。

3月9日には施政方針に対し、各会派の代表者が代表質問を行いました。

市長の施政方針 ～3つの重点政策～



1 教育・福祉の充実



2 都市基盤の充実



3 産業の育成

代 表 質 問

質問と答弁の概要をお知らせします。
2次元コードを読み取ると、録画映像をご視聴いただけます。



古河市公明党



(質問者：高橋 秀彰 議員)

物価高騰対策について

問 長引く物価高騰は、市民生活や地域経済に多大な影響を及ぼしている。今後の状況を注視し、重点支援地方交付金の推奨メニュー等を参考に、さらなる効果的な物価高騰への支援対策が必要と考えるがどうか。

答 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の推奨事業メ

ニュー分の残額は、約4億円を見込んでいる。今後の追加支援策については、周辺自治体の状況等も参考にし、なるべく早くに市民や事業者への効果的な支援を検討して、実施していきたい。

教育文化「人が育ち文化の息づく古河(まち)をつくる」について

問 古河市立小中学校適正規模・適正配置の取り組みは、保護者や地域住民の理解と協力を得るとともに、誰のための学校再編かという視点が大事である。未来を担う子どもたちを健やかに育ていく重要な取り組みであり、子どもたちの、より良い教育環境の提供を目指し進めることが大事と考えるがどうか。

答 学校は避難所や地域コミュニティの核といった役割も担っている。市の関係部署と教育委員会が一体となり、どう進めるのか検討していく。子どもたちの安全性を含めた教育環境の整備を最優先に、地域の方の理解を得ながら、進めていく。



《その他の質問》

- ・市民協働「地域のみんなで古河(まち)をつくる」
- ・健康福祉「互いに支え合う古河(まち)をつくる」
- ・生活環境「安全で快適な古河(まち)をつくる」



市民ベースの会

(質問者：落合 康之 議員)



福祉車両の貸し出しについて

問 施政方針にある福祉車両の貸し出しについての制度設計、古河市社会福祉協議会（以下、社協）に事業委託する内容について伺う。

答 車椅子使用者やその家族等の社会参加促進、外出支援のために、車椅子のまま乗車できる軽自動車1台を事前予約制とし、無料で貸し出す。マンパワーの

確保として、社協に委託し、ボランティアドライバー養成講座を実施予定である。利用者の意見に耳を傾け、必要に応じて改善を図る。

未来産業用地開発事業について

問 大堤地区の民間開発事業者の決定は計画通りに進んでいるのか。委員会の人選においては、多様な意見を持つ人も入れて、慎重な審議をしてほしいと思う。

答 現在は民間企業2社と条件整理を行っている。事業者の決定に向けた公募を円滑に行い、令和14年度中の操業を目指して事業を進めていく。委員の選定は検討中であり、条例に具体的な選定基準は細かくうたって

いないが、議員の意見も参考にしながら選定を進めていきたい。

ごみ処理一元化について

問 令和9年度から収集方法が大きく変更されるにあたり、令和8年度はどのように市民に説明する予定なのか。

答 有料指定ごみ袋およびプラスチックごみ分別収集への取り組みについて、対象の総和・三和地区の方に対し、自治組織および構成する行政区等を単位として説明会を行うほか、市SNS等にて周知広報活動を行う。



古河清風会

(質問者：印出 慎也 議員)



未来産業用地開発事業について

問 人口減少対策や地域活性化の起爆剤となるよう、着実に事業を進めることが大切と考えるが、①東山田・谷貝地区および②大堤地区の進捗状況を伺う。

答 ①既に立地が決定している4社においては、造成工事が完了し、建築工事に着手をしている。早い企業では4月から操業開始の予定である。②大堤地区

で商業、産業、文化の交流拠点を整備する民間事業者の募集要件を整理し、9月頃に募集を開始できるよう事業を進める。

高齢者等の買い物支援について

問 誰一人取り残さない社会の実現に向けて効果的な事業であると考えますが、高齢者等の買い物支援とは具体的にどのような取り組みなのか伺う。

答 民間事業者との協定により移動販売車を運行し、買い物支援とともに地域の見守り、支え合いの拠点づくりを強化する。現時点では公共施設や福祉施設、自治会館や公民館を販売場所とし、週に1回程度巡回することを検討している。

学校再編について

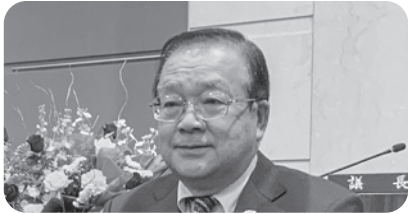
問 これからの古河市の最も大きな課題の一つで、受益者である児童生徒を中心に再編を進めていくべきだが、令和8年度以降どのように進めるのか伺う。

答 決定までには、地域との懇談会やパブリックコメント等を実施し、地域の声や子どもたち、保護者の意見も伺いながら再編計画を策定する。子どもたちがよかったと思える学校再編に全力で取り組む。



《その他の質問》

・市民協働「地域のみんなで古河（まち）をつくる」



真政会



(質問者：黒川 輝男 議員)

市政運営の基本方針について

問 市政運営の基本方針の中の重点施策より、①教育、福祉の充実について伺う。②都市基盤の充実について。災害に強いまちづくりの中で、避難経路と道路網の整備についてのシミュレーションをどう進めるのか伺う。③未来産業用地について。10年後を絵に描いて、人の集まるスポーツ施設をつくるべきと思うが、展望を伺う。④市の

産業育成ビジョンについて。新規の企業誘致と同時に既存企業の市外への移転防止対策にも配慮すべきと思うが、これについて伺う。

答 ①世代を超えた交流は、地域の絆を深める観点からも大変意義のある取り組みであると考えます。子どもと高齢者の交流の場として、老人クラブの会員と、地域の子どもの大人までの多世代が交流するふれあい交流事業が行われ、高齢者の豊かな知識、経験を生かしていただいている。買い物支援としての移動販売車の運行を検討しているが、高齢者だけでなく、さまざまな年齢層の方々に利用していただけるように、事業者と調整していく。②水害を想定した災害時

に逃げ遅れゼロを目指し、防災行政に取り組んでいる。最新のハザードマップを参考に、普段からどのルートで避難するのかを考えていただけるよう、市民の防災意識の向上を目指す。③市内外からも多くの集客が期待されることから、スポーツ施設の新設を含め、令和8年度以降に策定するスポーツ施設適正化計画の中で検討をしたい。④市産業ビジョンは、政策立案RESASワークショップなどから得られる客観的なデータと現状、市内の工業団地内の企業の動向も踏まえ、市の産業政策の基盤となるものを定めたい。



◆ 請願・陳情の出し方について ◆

どなたでも、市政などについての意見や要望を請願・陳情として市議会に提出することができます。提出された請願書・陳情書は市議会で審議され、採択されたものについては、市長や関係機関に意見書を送付するなどして、その実現に努力するよう求めます。

請願には1人以上の議員の紹介が必要ですが、陳情には紹介は必要ありません。

なお、古河市議会では、市外からの郵送による陳情は、各議員への配布にとどめることになっています。

請願書・陳情書には日本語で次の事項を記載して提出してください。

1. 請願・陳情の件名
2. 請願・陳情の趣旨（内容）
3. 提出年月日
4. 請願・陳情者の住所（法人の場合は所在地）、署名または記名押印（法人の場合は名称を記載し、代表者が署名または記名押印）
5. 請願書の場合は、紹介議員の署名または記名押印（陳情の場合は必要ありません）

詳しくは議会事務局にお問い合わせください。

記入例

(表紙)

〇〇に関する請願（陳情）

(請願の場合)
紹介議員 〇〇 〇〇 ㊟

(本文)

件名 〇〇に関する請願（陳情）
要旨 〇〇なので〇〇してください。

(請願の場合)
地方自治法第124条の規定により、上記のとおり請願します。
(陳情の場合)
上記のとおり陳情します。

令和 年 月 日
古河市議会議長 〇〇〇〇殿

請願者住所
請願者氏名 ㊟

市政を問う

一 般 質 問

第1回定例会の一般質問は、3月11日、12日の2日間行われ、11人の議員が登壇し、市政全般について質問がされました。

一般質問とは、執行機関に対し施策・事業等の現況や将来計画の考え方など、市民に密着した問題をただすため行うものです。各議員の質問と答弁の要旨をお知らせします。

議員名の右側にある2次元コードを読み取ると、録画映像をご視聴いただけます。



阿久津 佳子 議員



市民の安全安心について

問 現在の市内消防署・分署の救急車両配置状況は、市民の生命や身体を担保する上で課題があると思う。①救急車両の配置状況について、②茨城西南広域消防本部管内（4市3町、31万人強）でも古河市は人口、世帯数が多く、人口密度も高い。中でも特に、住吉分署は人口6万9千人弱、担当小地域51地域と突出しているが救急車両配置台数が1台であることについて

の所見、③合併後20年経過するも市町村合併前の11市町村時代の配置体制を踏襲していることへの所見、④適正配置を鑑み、安全安心を担保する上で市長から見直し要望書提出や申し入れの可否や所見、以上について伺う。

答 ①古河消防署管内の古河消防署に非常用1台を含む2台、住吉分署に1台、三和分署に1台の計4台、総和消防署管内の総和消防署に1台、合計5台配置されている。②茨城西南広域市町村圏事務組合（以下、組合）の見解では、近隣の署との連携において適正に運用がされているとのことである。③組合によると、構成する市町を一つの都市として捉え、救急車両を適正に配置しているとのことである。

ある。消防庁の示す消防力の整備指針は、時代の変遷に伴い改正がされてきたので、今後も市として注視していきたいと考えている。組合には、組合議会も設置されているので、適正に今後議論がされていくと考える。④市の要望を組合に伝えることは可能だが、構成市町の理解を得ながら検討を進めるためには、客観的な状況変化が生じた段階で申し入れを行うことが有効であると考えている。



本年1月、住吉分署に配備された高規格救急車

《その他の質問》

・学校教育施設の安全管理について



齊藤 由美子 議員



多文化共生の推進について

問 外国人数が増加傾向にある中、令和8年3月1日現在、6,690人と市内人口の約4.8%を占めた。多文化共生について①市の具体的な施策展開や新組織設置の目的、②外国人児童生徒向け施策について伺う。

答 ①外国人アットホーム in 古河の相談業務強化や、外国人が多く集まる場所へ出向いて、生活のオリエンテーションなど

を実施していく。令和8年度より『共生・交流推進室』を設置し、庁内連携はもとより、企業等との連携・協働を一層強化し、外国人との共生社会の実現、姉妹都市間交流については、新たな交流先を増やすため、具体的な交流先の検討を進めている。②令和7年度は県の加配教員と日本語指導員を10校に、市の日本語指導サポーター等を19校に配置し、日本語指導を希望する全ての小中学校に対応できている。

産後ケア事業について

問 こども家庭庁の方針の下、実施体制が強化された。少子化対策の基盤となる重要施策でもあるが①市の産後ケア事業の現

状、②今後の施策について伺う。

答 ①母子への心身のケアや授乳等のサポートを実施している。宿泊型と訪問型があり、医療機関や開業助産師に委託している。全ての妊婦に対し、妊娠届出時や妊娠8カ月面談の案内時に、チラシを配布し周知している。申請方法は利便性向上のため電子申請が可能となった。②専門職による妊娠期からの相談を通じ、ケアが必要な産婦の早期把握に努めたい。引き続き関係機関との連携を図り、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない子育て支援に取り組んでいく。



立川 徹 議員



相続未登記不動産について

問 ①把握状況、②相談・指導体制の現状、③今後の対策方針について伺う。

答 ①固定資産税課税の上で、相続登記は必須でないため、把握していない。②司法書士等に相談するよう案内している。③相談内容を丁寧に聞き取り、情報等を提供していく。

高齢化・独居世帯の増加について

問 ①現状把握と防災上のリスク認識、②見守り体制や安否確認体制について、また、支援体制の構築について伺う。

答 ①電子機器の操作が難しいために、災害情報の受け取り漏れや、身体的制約から避難行動が遅れやすい傾向があり、市として必要な対応策を講じる。②ひとり暮らし高齢者等給食サービスと高齢者見守りサポート事業がある。民生委員等による見守り支援では、定期的な個別訪問により安否確認している。

の配置状況と、今後の人員確保に対する課題認識、②消防車両および資機材の計画的な更新および整備の方針について伺う。

答 ①消防団員は339名、消防職員は131名である。市として、消防団活動PRを積極的に実施し、団員募集に努めている。消防職員については、消防本部にて定数を増やし、人員拡充に努めているとのことである。②消防車両、資機材は約15年から20年経過する車両を順に更新している。物品等の耐用年数も考慮し、計画的に予算計上し、整備・更新を進めたい。

消防力（人・車両・装備）の問題について

問 ①消防団員および消防職員





園部 増治 議員



未来産業用地開発事業（大堤地区）について

問 ①事業地拡大の理由と今後の取り組み、②エリア内の大堤排水路の整備について伺う。

答 ①計画策定時は、大規模なインフラ整備を伴う都市計画道路の計画エリアを除く形で設定したが、国や県との協議を進める中、効率的な土地利用の観点から東側エリアを追加する見込みが立ったため、地権者協議会に提案した。今後はエリア拡大

に向け、令和8年6月に国の同意を得ることを目標に、協議を進めていく。②できるところから進めていきたいと考え、水路機能強化に有利な起債ができる事業の検討を進めている。

大堤南部土地区画整理事業および新駅設置について

問 1月15日付けの乗りものニュースに「宇都宮線の『新駅』実現するか？“新たな玄関口”を目指し検討へ まちづくりの方向性が示される」という記事が掲載された。これは、市で大堤南部地区の地区整備方針案を示したことによるものと思う。区画整理事業を新駅の計画がある区域に絞り込むことで進めやすくなると思うので、スピード感をもって、10年後に開業でき

るよう進めていただきたい。

答 今後、大堤地区は市内外から多くの人が集まり、市の魅力向上を目指すエリアとなるので、新駅設置においても、将来の乗車人員確保等に効果があり、設置に向けて大きな一助になると考えている。JR東日本大宮支社に要望活動を継続して行う。



出典：乗りものニュース

《その他の質問》

・都市計画道路の整備について



小林 登美子 議員



こども政策について

問 ①こども基本条例制定の所見を伺う。②古河市こども計画^(※)の実績について伺う。③「切れ目のない支援」とは何か、こども政策課の移転理由も伺う。④目指すべき姿を伺う。

答 ①令和6年度に策定した古河市こども計画の冒頭には、こどもの意見表明を掲げ、国のこども基本法の基本理念に忠実に沿ったものとなっている。こ

の基本理念を条例に明示することは、こども施策推進に有効な手段であると考え、現実を踏まえてどのように市の施策に生かせばよいのかという観点から、条例制定すること自体が目的化しないよう慎重に検討していきたい。②三つの重点施策を掲げ、こどもの意見表明については、インターネットや出張型の意見表明の場を創出したこと、居場所の充実については、ネットワークの設立と加入促進、団体への活動補助金助成等の実施、遊びと育ちの場所づくりについては、公民館等施設における学生利用の改善調整を進めてきた。③妊娠期、幼児期の就学前から小中高の学齢期まで、ライフステージに沿ってこども自身と家庭の状況に応じた支援が途切れ

ないこと、それを実現するための保険、医療、福祉、教育が連携・協働して機能する体制の構築が重要と考える。今回のこども政策課の古河庁舎への移転は、基盤整備のために福祉部と教育部が物理的距離を縮め、情報共有や連携を迅速かつ強化するために行う。④こどもやその家庭が抱える課題の状況や今後の見通しについて早期に気づき、危機を未然に回避する支援をこどものライフステージに寄り添って提供することである。



こども政策課 HP より

※古河市こども計画 KODOMO GRAND DESIGN 2025-2029



関口 和男 議員

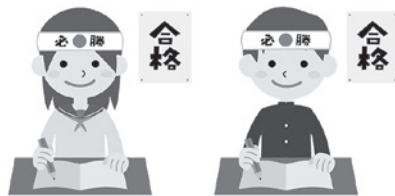


公立高校併願制について

問 ①政府検討案の概要を伺う。②生徒や保護者からの意見、要望等を集約しているか伺う。③生徒にとって高校受験は進路を大きく左右するものである。現行の単願制度は過大なプレッシャーを与えることもあり、併願制がうまく確立できれば、生徒の未来を大きく広げられると考えるが、所見を伺う。

答 ①複数の公立高校への出願

を可能にし、入試結果や志望順位に基づき、デジタル技術を使ってその生徒に最適な1校を割り当てるものである。②公立高校併願制はまだ実施されていないため、要望等は集約していない。③メリットとして受験機会の拡大、心理的負担の軽減があるが、デメリットとして安心感からの学習意欲低下、高校の序列化が進むことが考えられる。今後の国や県の動向を注視し、生徒にとってより良い進路選択の環境が整うよう努める。



児童、生徒の個人情報の管理について

問 ①本年1月19日、他の自治体で高校生の個人情報流出があったようだが、概要を伺う。②本市では児童生徒の個人情報をどのように管理しているか伺う。③今後の対応、所見を伺う。

答 ①北海道の高等学校教諭が消費者金融業者から借り入れする際、生徒など38人分の個人情報を流出させた。②各校で個人情報取扱規定を定め、流出防止を図っている。③教職員に対する個人情報保護に関する研修の充実など、継続的な指導を行う。個人情報の安全確保と、保護者や地域から信頼される教育環境の維持に努めたい。



佐々木 英徳 議員



教職員の働き方改革について

問 ①教職員の長時間勤務と人手不足が深刻化し、教職離れも進んでいる。こうした状況を踏まえ、国は学校業務を三つに分類し、外部支援の活用や業務削減を進めている。全国でも保護者対応の外部化やICT支援員、校務助手の配置など、負担軽減の取り組みが広がっている。本市での取り組みについて伺う。②教育の中心は常に子どもたちである。子どもたちが安心して

学び、挑戦し、成長できる学校をつくるためには、学校・行政・教育委員会・保護者・地域が一体となって子どもを育て“共育”の精神が必要である。未来を担う宝の子どもたちのために、より良い教育環境を築くことを強く願う。

答 ①教職員の働き方改革をさらに推進するため、令和8年2月に古河市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画を策定した。この計画は令和8年度から令和10年度までを計画期間とし、1カ月の時間外勤務は45時間以内とすること、職場内の健康リスク値を80以下とすることを達成目標としている。この目標を着実に達成できるよう、先進事例

等も参考にし、取り組んでいく。②市で策定した計画について、単に計画とすることなく、市全体の目標感として示したので、各学校において、令和8年度の学校経営計画にこの数字を達成するための具体的な指針を入れ込むようにする。教師の笑顔が子どもたちの笑顔をつくる、この考えの下、学校、家庭、地域が手を取り合い、学校が担うべき役割と地域で支えるべき役割を分かち合って、子どもたちを社会全体で育てることができるよう、働き方改革をさらに進める。



出典：政府広報オンライン
「新しい時代の教育のために。
『学校の働き方改革』が進められています！」



黒見 久美子 議員

脱炭素社会の実現について

問 廃棄物の資源として、ごみや水質汚染の原因となる廃油の活用が期待される。①脱炭素社会への取り組みと、②持続可能な航空燃料SAFの原料などに活用できる家庭用廃食油の回収について、所見と課題を伺う。

答 ①事業所向けに省エネルギー診断に関する補助金を設け、リユースカップ導入の支援を行った。また、温室効果ガス削減のため、各庁舎の照明のLED化等を進めている。②家庭から出る廃食用油は、現在のSAF製造における主要な原料であり、循環可能な資源エネルギーとして回収し、再利用することは有効な手段である。一方、回収拠点の設置や運営コストの精査、安定した回収量の確保や品質管理などの課題がある。

減のため、各庁舎の照明のLED化等を進めている。②家庭から出る廃食用油は、現在のSAF製造における主要な原料であり、循環可能な資源エネルギーとして回収し、再利用することは有効な手段である。一方、回収拠点の設置や運営コストの精査、安定した回収量の確保や品質管理などの課題がある。



廃食用油のリサイクルイメージ (杉並区)

ケアラー支援条例制定について

問 ケアラーとは精神や障がい、

高齢など、援助を必要とする家族などに日常的に世話をを行う人のことであり、ケアラーに対しての支援が必要である。現状把握とケアラー支援条例制定について、所見と課題を伺う。

答 市ではケアラーの正確な人数や世帯数は把握していないが、さまざまな福祉分野の窓口でのケアラーからの個別相談を通して、家庭状況や実態を把握している。条例を制定し、取り組みを進める自治体が増えていることは認識している。今後、条例の制定を検討する場合、既存の事業との整合性をどのように図るかが課題になる。条例の必要性や実効性を多角的に検討し、市民にとって真に有効なものとなるよう議論を進める。

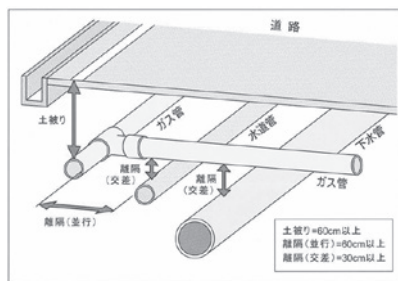


佐藤 稔 議員

「下水道管等の管理」について

問 八潮市の道路陥没事故を受けて、国は施行規則を改正し、自治体に管理状況の報告を求めているが、市の対応を伺う。

答 法に基づき道路占用者に対し、安全性の確保について適切に指導する。八潮市の事故を教訓として、国、県、地域社会全体で総合的な安全対策を進め、市民の安全・安心を最優先とした維持管理に全力で取り組む。



地下埋設管のイメージ図 (引用元：株式会社協振技建)

「公共施設の防犯対策」について

問 学校施設や生涯学習施設等、不特定多数の方々が出入りする施設の、防犯対策の現状と課題について伺う。

答 市内各小中学校や指定管理導入施設において、危機管理マニュアルを整備し、不審者対応の徹底を図っている。利用者の安全確保のため、防犯カメラの増設、職員の防犯意識向上等が

課題である。

「粗大ごみ収集依頼のオンライン化」について

問 市民生活の利便性向上のために、行政手続きのオンライン化が進められている。現在窓口申請のみとなっている、「粗大ごみ収集依頼のオンライン化」についても、早急な推進が求められるが、市の考えを伺う。

答 現在、既存システムを活用した電子申請を検討している。導入した場合、時間外のオンライン申請が増加し、収集希望日の殺到で、希望どおりに収集できないことが想定される。実際の運用面での調整や委託業者への適切な収集指示、手数料の徴収等が課題として認識している。



古川 一美 議員



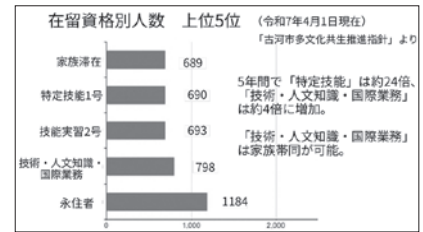
外国籍住民、外国人労働者を巡る問題について

問 在住外国人は増加しており、地域産業を支える重要な労働力となっている一方、住民から不安の声も聞く。感情論でなく、現状を正確に認識し、課題と対応を整理すべき。①当市の外国人の人数、②居住実態、就労状態に疑義が生じた場合の市の対応、③受け入れに伴う人的・財政的コストについて、④外国人の国民健康保険の未納率とその対応、⑤外国人による不動産取

得状況について伺う。⑥現在、住民登録、在留資格、社会保障や不動産取得などは、別制度で管理されているため、市での実態把握が難しい。新たな国の制度が実効性のあるものとなるには、国との情報共有が必要である。国や関係機関との連携強化について、市長の所見を伺う。

答 ①令和8年2月1日現在で6,675人である。②住民や事業者から連絡を受けた場合、出入国在留管理庁への連絡を案内する。③多文化共生に関わる行政事務は年々増加しており、人的、財政的にも一定のコストがかかる。国などの補助金も活用し、できる限りコストをかけず進めたい。④令和6年度の外国籍住民の未納額は4,948万7千円

で、割合は19.95%となる。加入手続きの際に制度説明用のパンフレットを配布し、理解を深めていただけるよう努めている。⑤自治体では、把握していない。防衛関係施設等の重要施設周辺における外国人の不動産取得状況は、内閣府で調査している。⑥外国人市民が、地域の一員として生活できる環境整備を、庁内横断的に実施し、関係団体等との連携により、地域全体で推進していきたい。



秋庭 繁 議員



教師の働き方改革の推進（教育の質を変える）について

問 ①学校の働き方改革の重要性と、取り組みが遅れていること、②働き方改革を推進し、教師や子どもたち、保護者、地域の方々と成果を実感できるための学校と教師の業務を3分類した取り組み、③市の時間外勤務の実態と改善策、④教育委員会の役割、⑤茨城県が臨時教員1,750人を順次正規教員にしていく計画、以上について伺う。

答 ①適切な業務量管理と健康確保措置を講じることで、子どもたちに寄り添う時間を増やし、未来を支える教師という職業の輝きを取り戻すことに重要性がある。どうしても教師の使命感に頼る部分がある等、当初の思い通りには進まなかったというのが現状だと考える。②国の掲げる「業務の3分類」について、「学校以外が担うべき業務」では、スクールロイヤー制度導入等を行い、「教師以外が積極的に参画すべき業務」では、部活動の外部指導員を全校14人配置し、「教師の業務だが負担軽減を促進すべき業務」では、運動会などの行事内容の見直し等を行っている。③小学校は13.04%、中学校は40.12%である。時間外を減らすことを含

め、市の実施計画^(※)を実効性のあるものにするため、令和8年度の学校経営計画に具体的な取り組みを入れ込む。④教職員が子どもたちに寄り添い、より良い授業と指導を行う時間を増やし、子どもたちの豊かな学びと確かな成長のために必要な施策を行う。⑤教員採用を150人増とし、臨時的任用教員を少なくし、正規の教員を増やしていく。



≪その他の質問≫

・スポーツタウン古河（地域丸ごと運動場）の実現について

※市の実施計画…「古河市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画」のこと

古河桃まつりPR

観光大使「古河桃むすめ」ほか関係者とともに、鈴木 務 副議長が、2月17日に首相官邸を訪れ、高市総理に桃の花を贈りました。また、2月26日には茨城県知事を訪問し、3月に開催された古河桃まつりをPRしました。



《高市総理も笑顔に》古河の春、首相官邸へ届く



《県庁に咲く桃の花》知事へ古河をアピール

◆◆◆ 令和8年 第2回定例会の会期予定 ◆◆◆

日	月	火	水	木	金	土
	6/1	2	3	4	5	6
7	8	9 本会議 (開会)	10 休会	11 本会議 (質疑)	12 総務常任委員会 産業建設常任委員会	13
14	15 文教厚生常任委員会	16 本会議 (一般質問)	17 本会議 (一般質問)	18 本会議 (一般質問)	19 本会議 (閉会)	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

- 開催時間は午前10時です。
- 産業建設常任委員会の開催時間は午前10時15分です。
- ※変更される場合もありますので議会事務局までお問い合わせください。

第1回定例会の傍聴者数

本会議 37人
委員会 (特別委員会含む) 7人
合計 44人
※傍聴者数は延べ人数

議会の様子・会議録 を見てみよう!

古河市議会ホームページ、または下記2次元コードからご覧になれます。



議会中継



会議録検索

編集後記

今号では、年に一度の予算特別委員会や各会派代表質問の様子もお伝えしました。市税の使い道や市政の方向性について、さまざまな議論が行われました。市民の皆さまの暮らしに直結する内容だからこそ、少しでも身近に感じていただければうれしく思います。今後も、分かりやすく伝わる議会だよりを目指し、情報発信に努めてまいります。ぜひ関心をお寄せいただき、ご意見をお聞かせいただければ幸いです。

副委員長 小林 登美子

【議会だより編集委員会】

委員長 齊藤由美子
副委員長 小林登美子
委員 佐々木英徳 阿久津佳子
稲葉 貴大 赤坂 育男

古河市議会事務局
古河市長谷町 38 番 18 号
☎ 0280-22-5111 (代)